

水資源の保全

アプローチ

世界の人口増加に伴い水の需要増が見込まれる一方で、地球上の淡水は偏在しているという課題があります。水資源の枯渇は、生産に使用する水そのものだけでなく、原材料の調達にも影響を及ぼします。また、渇水や洪水、水質悪化が起これば、生産の停滞を招きかねません。

味の素グループは、長年にわたり継続してきた生産における水使用量・排出量削減をさらに深化させるとともに、水源の森林整備等を通じて、持続的に水を利用できる環境の創出に貢献します。

具体例

- ・生産時の水の消費と排水の管理
- ・農業・畜産における水利用

関連する機会とリスク(○機会/●リスク)

- 渇水・洪水・水質悪化による生産停滞
- 水資源の枯渇による原材料調達不全
- 水資源保全への対応遅れによる企業価値毀損

味の素グループの主要な取り組み

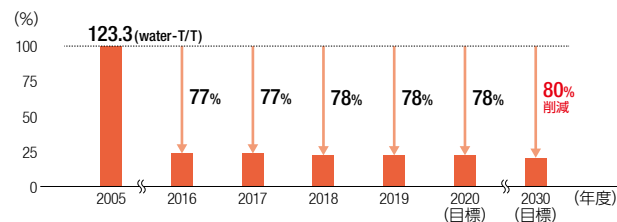
- ・水源の森林整備
- ・排水処理技術の開発

貢献するSDGsのゴール



20-25中計KPI

水使用量対生産量原単位削減率(対2005年度)



飲料使用水森林涵養率

